

〈近畿・大阪府〉
谷口病院

産婦人科中心 夕診

産科、婦人科、内科、小児科に特化した周産期の民間の専門病院。地域の実力産科として、周辺病院の医師から信頼されている。産婦人科医6名のほか麻酔科専門医なども在籍し、年間1000件以上のお産をクリア。母乳指導やそのための栄養指導も。両親学級や育児サークルなども充実。
①大阪府泉佐野市大西1-5-20 ☎072-463-3232
URL www.taniguchi-hp.org/

〈関東・東京都〉
昭和大学病院産婦人科

総合周産期母子医療センター

大学病院 三次救急

二十数人の産婦人科医が所属し、地域の中核産科として正常分娩に、大学病院ならではの周産期センターとして、ハイリスクや緊急搬送の母胎に対応。遺伝相談外来や高度な不妊治療も。岡井崇教授の小説「ノーフォールト」は、妊娠出産を理解し、産婦人科医療の現実を知る意味で一読を。
①東京都品川区旗の台1-5-8 ☎03-3784-8000
URL hosp.showa-u.ac.jp/SUH/

〈近畿・大阪府〉
大阪府立母子保健総合医療センター周産期部門

総合周産期母子医療センター

専門病院 二次救急

周産期部門は産科、母性内科、新生児科からなる。大阪府内と近県から、紹介または救急搬送されるハイリスクの母胎や新生児(前置胎盤や切迫流産、早産など)に対し、専門家チームが高度な検査や治療力に対応。白血病や小児がんなど小児内科・外科診療も国内トップレベルを誇る。
①大阪府和泉市室堂町840 ☎0725-56-1220
URL www.mch.pref.osaka.jp/

〈関東・東京都〉
東邦大学医療センター大森病院産婦人科

総合周産期母子医療センター

大学病院 三次救急

もともと産婦人科(15人の医師が所属)や泌尿器科が強く、総合周産期母子医療センターでは地域と近隣各地からハイリスクの母胎や新生児を受け入れる。不妊症などの生殖医療(男女別)も定評。小児科も20人以上の医師が所属し、国内初の新生児学講座を設け、専門医を養成。土曜診療もあり。
①東京都大田区大森西6-11-1 ☎03-3762-4151
URL www.omori.med.toho-u.ac.jp/

〈近畿・大阪府〉
大阪厚生年金病院産婦人科

総合病院 二次救急

地域の中核的総合病院の院長が、「出産・育児支援のカギはポストと旦那」という考えから女性医師が働きやすい週期的取り組み(パート勤務推進など)を始めたことで注目される。女性医師外来の特設をはじめ母子同室、カンガルーケア、産褥電話訪問、新生児訪問などもあり、産科の人気も上昇。
①大阪府大阪市福島区福島4-2-78 ☎06-6441-5451
URL www.okn.gr.jp/

〈関東・神奈川県〉
神奈川こども医療センター周産期科

総合周産期母子医療センター

専門病院 二次救急

小児中心の、医療機関からの紹介・予約を前提とする高度医療機関。周産期科は新生児科、母性内科、産婦人科からなり、主にハイリスクの母胎や新生児、前回のお産で問題があったケースなどを対象としている。妊娠の不安がある人には「妊娠前外来」なども。小児の難病や各種手術にも定評。
①神奈川県横浜市南区六ツ川2-138-4 ☎045-711-2351
URL www.pref.kanagawa.jp/osirase/byouin/kodomo/

〈近畿・大阪府〉
高槻病院産科

総合周産期母子医療センター

総合病院 二次救急

ユニセフ・WHO提唱の母乳育児を推進する「赤ちゃんにやさしい病院」認定。地域の基幹産科として幅広く正常分娩を受け入れ、ハイリスクケースは近県からの紹介・緊急搬送にも対応。完全母子同室で、カンガルーケアや父親の育児参加にも尽力。里帰り出産も。
①大阪府高槻市古曾部町1-3-13 ☎072-681-3801
URL www.ajinkai.or.jp/takatsuki/

〈関東・神奈川県〉
横浜市立大学附属市民総合医療センター

総合周産期母子医療センター

大学病院 三次救急

県の周産期医療の基幹病院として、母胎と新生児に関する様々な問題に対応。産科5人、新生児科4人が中心となってハイリスクや緊急搬送ケースに高度医療を提供。習慣流産(不育)外来や遺伝外来などもある。正常分娩では母子同室制。母乳育児を推進している。
①神奈川県横浜市南区浦舟町4-5-7 ☎045-261-5656
URL www.urahp.yokohama-cu.ac.jp/

〈近畿・兵庫県〉
兵庫県立こども病院周産期医療センター

総合周産期母子医療センター

専門病院 二次救急

こども病院の中核的周産期医療部門の先駆け。県内唯一の総合周産期母子医療センターとして、ハイリスクの母胎・新生児の医療を行う。こども病院は国内でも最も歴史があり、専門的な治療、特に手術を求めて遠方からの患者も多くやってくる。
①兵庫県神戸市須磨区高倉台1-1-1 ☎078-732-6961
URL www.hyogo-kodomo-hosp.com/

〈関東・神奈川県〉
川崎市立川崎病院産婦人科

総合病院 三次救急

腹腔鏡下手術など婦人科疾患の先進的な診療で知られ、産科系の医師が多い万能型産婦人科。周産期体制ではないが、地域中核施設として年間1200件以上の分娩に対応。周辺の出産休止施設の影響で患者が増え続けているので、予約は早めに。分娩後は母子同室、退院後の電話相談なども。
①神奈川県川崎市川崎区新川通12-1 ☎044-233-5521
URL www.city.kawasaki.jp/83byoin/kawasaki/index.html

〈中国・岡山県〉
倉敷中央病院産婦人科

総合周産期母子医療センター

総合病院 二次救急

病院ランク上位常連病院であり、西日本の代表的な病院の一つ。お産については年間1000件以上。地域の中核機関として正常分娩を多数扱う一方で、ハイリスク対応の周産期母子医療センターとしても高度な医療を提供。自然分娩を基本方針として、医師の診察と併せて助産師による個別指導も。
①岡山県倉敷市美和1-1-1 ☎086-422-0210
URL www.kchnet.or.jp/

〈北陸・石川県〉
鈴木レディスホスピタル産婦人科

産婦人科中心

半世紀前にスタートした地元の老舗産科。自然分娩を原則とするが、必要に応じ無痛分娩にも対応できる。ソフロロジー(精神的にリラックスして分娩するための工夫)をとり入れた母親学級を早くから始め、父親学級も加えてサポートに力を入れている。妊娠中から産後のヨガ教室なども。
①石川県金沢市寺町2-8-36 ☎076-242-3155
URL www.spacean.ne.jp/~suzukilh/

〈九州・福岡県〉
北九州市立医療センター産婦人科

総合周産期母子医療センター

総合病院 二次救急

北九州唯一の総合周産期母子医療センター。正常なお産にも新生児から小児科医が積極的に関わる一方、広域から搬送されるハイリスク母胎に対応。母胎搬送用のドクターカーも用意されている。初診には大学病院などと同じく、原則として医師の紹介状(診療情報提供書)が必要。
①福岡県北九州市小倉北区馬借2-1-1 ☎093-541-1831
URL www.city.kitakyushu.jp/page/hospital/center/

〈東海・静岡県〉
聖隷浜松病院産科・周産期科

総合周産期母子医療センター

総合病院 二次救急

優良病院ランキング上位の常連病院で、医師の研修先・就職先としても人気。通常のお産はもちろんハイリスクまで広く対応。定期受診時に問題が発見されると、院内のハイリスク妊婦外来へ紹介。小児医療も充実し、内科・外科系、また新生児から思春期まで20名以上のエキスパートが勤務。
①静岡県浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222
URL www.seirei.or.jp/hamamatsu/

〈九州・福岡県〉
聖マリア病院産科

総合周産期母子医療センター

総合病院 二次救急

創立から半世紀以上の歴史を有し、産科・小児医療に定評。72年には国内の総合病院としては初めて新生児科を開設し、地域の新生児・小児救急医療の中核的役割を果たしてきたが、産科を加えたチーム医療の総合周産期母子医療センターに。ユニセフ認定「赤ちゃんにやさしい病院」。
①福岡県久留米市津福本町422 ☎0942-35-3322
URL www.st-mary-med.or.jp/index.html

〈東海・愛知県〉
名古屋市立大学病院産科婦人科

大学病院 二次救急

女性教授が率いる数少ない産婦人科で、女性医師の働きやすさを大切にしていることで注目されている。高い医療レベルをベースに分娩生育先端医療センターなども併設され、遺伝カウンセリングなどもあり、心身に病気を抱えている人にとっては心強い施設だ。
①愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川窪1 ☎052-851-5511
URL w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/

〈九州・宮崎県〉
宮崎大学医学部附属病院産科婦人科

総合周産期母子医療センター

大学病院 二次救急

全国に普及しつつある、県全域を対象とした周産期医療ネットワーク化のモデル的な役割を果たした大学病院。周産期医療および婦人科がんの臨床医を多く育成・輩出していることでも知られ、産婦人科出身の医師が各地で活躍。地域の基幹施設として、質の高い周産期医療を提供。
①宮崎県宮崎郡清武町大字木原5200 ☎0985-85-1510
URL www.miyazaki-med.ac.jp/hospital/

〈東海・愛知県〉
セブンベルクリニック

産婦人科中心 夕診 土曜診

安全なお産を最優先し、2006年に開かれた産婦人科診療所。名古屋大学医学部出身の常勤医4人を中心に、非常勤ながら多数の産婦人科医や小児科医、ベテラン助産師15人が関わることで24時間365日対応を実現。保育士常勤の託児サービスもあり、病室は全て個室で、ネット接続なども可。
①愛知県稲沢市小池4-1-22 ☎0587-33-7877
URL www.sevenbells.jp/index.html